

アクセサリー【めっきなど】における ニッケル・鉛 問題について

EU/US STANDARD NICKEL・LEAD FREE

ご存じのとおり、現状の日本では、ニッケル(Ni;Nickel)と鉛(Pb;Lead)が問題視されております。

ニッケルは金属アレルギーの方に反応してしまう、代表的な素材です。

高濃度の鉛が使用されたアクセサリーは人体に有害な素材と認識されております。

しかしながら、厳密にこの2つの素材の具体的な含有率の基準値は

法的に規制されていない現状です。

世界的には、アクセサリーについて、ヨーロッパ諸国(EU)、アメリカ(USA)につきましては、

ニッケルは500ppm以下、鉛は600ppm以下と具体的な数値で規制されております。

ニッケルフリー・ニッケルオフ・リード(鉛)フリー・リードオフ という表現を一般的に使用されています。

この【フリー】【オフ】、全く含まれていない、もしくは含まれていても極少量という意味です。

弊社は、今後、日本にも上記のような基準が適用されることも視野に入れ、

ニッケル・リードフリーを追及してまいりました。

検査機関にて、分析した結果は以下のようになりました。

対象元素	測定結果		分析方法/補足
	鉛	ニッケル	
メッキ皮膜中含有量	0.06%以下 (77.5ppm)	0.05%以下 (200.9ppm)	湿式分解-誘導結合プラズマ 発行分光分析法 ppmは重量%に換算すると 100ppm=0.01%となる
素材中 含有量	0.06%以下 (90.9ppm)	0.05%以下 (101.8ppm)	

検査機関の方と話したところ、結果が0.04%ほどの場合、商品により基準値を超える

可能性があるが、この検査結果から推測すると、値が半分以下なので、

よほどのことがない限り、成分は基準値をクリアできるでしょう。(参考)

該当商品は、弊社営業までお問い合わせください。